

令和6年度第2回景観審議会デザイン協議部会 会議要旨

1. 審議会（部会）の日時、場所、出席者、議事

(1) 開催日時 令和6年（2024年）9月3日（火） 午後4時～同5時30分

(2) 開催場所 中央公民館2階 203、204学習室

(3) 出席者

・景観審議会デザイン協議部会委員（全員対面）

田中委員、高木委員、川崎委員、榊委員、澤委員、山根委員、
片岡委員、永尾委員

・事務局（都市整備部 都市計画課）

吉田部長、谷口次長、黒川課長、白川係長、武田職員

・事業者

議事① 事業者 欠席（エスリード株式会社）

設計者 株式会社TKI設計

議事② 事業者 宝塚市教育委員会

設計者 株式会社黒田建築設計事務所

(4) 議 事

議事① （仮称）宝塚市末広町 新築工事

議事② 市立西山小学校屋内運動場改築事業

(5) 傍聴者

議事①及び② 0名

2. 会議の要旨

事務局： 本日のデザイン協議部会は、委員8名中7名の出席がありましたので、宝塚市景観審議会デザイン協議部会の設置及び運営に関する規程第5条に準用する宝塚市景観審議会規則第6条第2項の規定により成立する旨を報告します。また、部会の設置及び運営に関する規定第3条2項により、片岡委員にご協力をいただいております。合計8名の委員の方に協議いただきます。

景観審議会運営規程第3条第1項の規定に基づき、本日の議事は全て公開となっています。傍聴者があれば入室を承認しますが、傍聴者はいらっしゃいません。

会 長： 本日の署名委員は順番により、3番榊委員と4番澤委員です。

☆☆☆☆ (仮称)宝塚市末広町 新築工事 ☆☆☆☆

会 長： 今回の事業計画で景観上特に配慮された部分についてご説明をお願い致します。

設計者： 建物は、隣地から離して配置し、圧迫感を軽減しました。緑地について、アプローチに樹木を配置し、落ち着いた雰囲気となるよう配慮しました。建物意匠について、高級感のあるデザインとなるよう計画しています。基壇部のデザインは、宝塚らしい落ち着いた重厚感のあるデザインにしています。

会 長： ありがとうございます。では、ご意見やご質問をお願いします。

委 員： 建物のボリュームについて、周辺の共同住宅と比較しても、計画建物は高さが高く、ボリュームも大きいので、どうしても圧迫感を感じる部分があると思います。もう少し高さを抑えるなど、配慮いただくことはできませんか。

設計者： ボリュームや高さを変更するのは、事業に大きな影響があるので、変更はできません。

委 員： 分かりました。事業性などを考慮すると難しいのは理解しますが、景観上配慮出来ることは対応いただければと思います。

敷地西側について、計画内容を見ていると裏側の設えになっていますが、景観上は、道路及び河川沿いであり、非常に重要な場所となります。今回計画では、平面駐車場や機械式駐車場が直接見える計画になっています。目隠しや植栽を配置するなど、河川側からの景観に配慮できないか検討してください。

設計者： 駐車場の確保や、通路幅の関係もあり難しいです。

委 員： 私も先ほどの意見と同じ思いです。デザイン説明資料には、河川側に配慮する旨を記載されています。今回の計画で、十分な配慮がされてい

るとは言い難いです。

駐車場が見えなくなるように植栽を追加することや、植栽でなくとも良いので、その他何か工夫することを検討いただきたいです。

設計者： 分かりました。持ち帰って検討します。

委員： 専用庭の目隠しフェンスについて、閉鎖的で冷たい印象を受けます。格子状にするなど、内と外を繋げるような、もう少し柔らかいデザインのものに変更できませんか。

設計者： 目隠しの機能が必要ですので、変更は難しいです。

委員： 目隠ししたいということを否定するつもりはありませんが、目線を遮りつつ、もう少し緩やかな印象の設えにできないかを検討していただきたいです。

委員： 色彩について、計画建物の色味は、グレー系の都会的なイメージかと思えます。それは良いのですが、この場所と調和しているかという目線でみると、少し浮いて見えるように思えます。この辺りの場所は、河川の砂の色、ベージュ系の自然的なイメージであり、今回計画のグレー系の色彩との対比が強すぎるように感じます。周囲との調和を考慮し、ベージュ系の色味を取り入れることで、もう少しあたたかみのある印象としていただきたいです。例えば、凡例A（無彩色メインの3色タイル）及び凡例B（色相Yの3色タイル）で示されている二丁掛タイルの部分について、無彩色もしくは非常に彩度が低いので、もう少し色味を入れてほしいです。また、凡例Hのマリオン部分についても、白すぎるように思えます。ベージュ系で、彩度を0.5でもいいので入れていただけませんか。

設計者： 凡例Bの部分については、事業主カラーとなるため変更が難しいですが、凡例Aの部分については、ベージュやグレイージュに少し寄せることは検討できるかと思えます。また、マリオンについても検討します。

委員： 外構の舗装について、資料にあるインターロッキングの赤茶色とアスファルトの黒色では色彩が大きく異なるため気になります。

設計者： インターロッキングの色彩は、既存の歩道の色に合わせて計画します。

委員： わかりました。外構の舗装は周囲と合わせる事の方が重要だと思いますので、そのままご検討ください。

委員： 景観とは少し違うかもしれませんが、安全性についてです。計画地の近隣には小学校があり、敷地西側の河川側の道路は通学路となっています。敷地西側は駐車場が計画されており、車両動線となっているため、安全性が心配です。

会長： 串刺し駐車になっている部分もあります。必要台数の確保等が難しいことも理解しますが、実際の通行量や通学路なども再度確認して、安全性への配慮をお願いします。

設計者： 状況を再度確認し、検討します。

会長： 河川沿いの角地で、落ち着いた住宅街に建つ共同住宅ですので、周囲への景観上の影響がある計画だと思います。本日の意見を是非取り入れていただき、良いものにしていただきたいと思います。ご検討よろしくお願い致します。

☆☆☆☆ 市立西山小学校屋内運動場改築事業 ☆☆☆☆

会長： 今回の事業計画で景観上特に配慮された部分についてご説明をお願い致します。

設計者： 今回は、屋内運動場の建替計画です。計画地は現在幼稚園が建っている場所です。景観上配慮した点について、ご説明します。

今回敷地は、北及び東側は低層住宅地、西及び南側は中高層住宅地です。低層住宅地側からはできるだけ離隔をとりつつ、敷地内の校舎との関係性を考慮して配置を決定しました。既存樹木は、工事の関係で伐採が必要ですが、既存樹種と同じサクラを新設し、既存のイメージを継承するよう配慮しました。

建物意匠は、宝塚駅周辺をイメージした「宝塚らしさ」を意識しています。一方、公共施設としてはあまり装飾的すぎない方が良くとも考えて、アーチのデザインをパターン化することで、宝塚らしさをシンプル

なデザインで表現しました。

既存建物が土留めの役割をしていましたので、計画建物も一部土留めとして計画しています。石積擁壁を一部撤去しますが、既存を転用して再利用する計画です。

また、地域の方とのワークショップも行っています。既存幼稚園にあった動物のオブジェを是非残して欲しいという要望がありましたので、新築建物にオブジェを再度設置する計画としています。

会 長： ありがとうございます。では、ご意見やご質問をお願いします。

委 員： 計画建物は、道路から離れて配置されているので、景観上の影響はあまり大きくないように思います。

ただ、少し気になったのは、南西の共同住宅からの屋根の見え方です。菱葺とのことですので、あまり面も大きく見えないかとは思いますが、色味について、グレーの色味が濃いように感じます。

設計者： 共同住宅からの見え方について、植栽があることや、共用廊下側になるというところで、あまり気になる見え方にはならないと考えています。色味については、製品の選択肢があまり多くないということもありますが、太陽光パネルも予定しているので、そのあたりも考慮して選定はしています。

委 員： 外壁の色味について、サンプルを持ってきていただいているようですので、ご説明をお願いします。

設計者： （それぞれのサンプルでの質感等の説明）

委 員： 外壁のベージュは、白すぎるように感じるので、アースカラー寄りの方が良いと思います。個人的には、グラウンドの土の色の系統に寄せると良いと思います。また、アクセントとなっている外部廊下の壁の色彩について、既存の石積の色に近いグレーでの計画ですが、子どもからすると重い印象になると思います。ベージュ系若しくは茶系の色彩とすることを検討いただきたいです。

設計者： 色彩については、再度検討します。

委員： アーチ状の角の面の処理について、少しアールを設けるように配慮して欲しいと思います。子どもの使う施設でもありますので、角がでないように、柔らかい雰囲気としてほしいです。

設計者： 施工上や構造上の問題等もありますが、できるだけ角がでないよう配慮します。

委員： フェンスは何色ですか。

設計者： 現在はグレーを予定しています。外壁色と合わせたいと考えていますので、変更する可能性があります。

委員： 植栽について、ソメイヨシノの植栽間隔が少し密ではないでしょうか。しっかり育つか心配です。

設計者： 少し密かもしれません。確認します。

委員： 計画地は、市民の方にとっては、幼稚園として思い入れのある場所かと思えます。ご説明いただいた動物のオブジェ以外で、何か保全することを考えているものなどはありますか。

事業者： モニュメントや記念樹なども検討しています。また、オブジェ以外にも既存建物の一部の活用などができるのであればやっていきたいと思えます。

委員： 地域の記憶の継承ができれば良いと思いますので、よろしくお願ひします。また、将来解体される既存屋内運動場の跡地については、どういった予定でしょうか。

設計者： 解体した跡地については、現況で不足している駐車場用地にする予定です。また、現状は車両の進入路が狭く、見通しも悪くて危険であるため、こういった状態を解消するようなかたちで活用したいと考えています。

委員： 今回計画で、色々と景観にも配慮していただいていますので、既存屋内運動場の跡地も含めて、小学校全体として良いものにするという視点

を持っておいただきたいです。跡地自体は、駐車場用地ということで、景観上の配慮が難しい部分もあるかもしれませんが、植栽の配置を工夫するなど、良い場所になるようしっかり考えていただきたいと思います。

委員： 計画建物の屋根について、このコンセプトや意匠に対して、屋根勾配が緩いように思います。高さ制限などとの兼ね合いがあるのかもしれませんが、意匠としては、もう少し勾配がある方がバランスが良いのではないのでしょうか。

設計者： ご意見のとおり、意匠としては、もう少し勾配がある方がバランスが良いと思います。また、設計者としては、スペイン瓦にしたいなどの思いもありましたが、規模や屋根荷重を考慮すると、このような計画になったというところです。

委員： ピロティは、どのような利用を考えておられますか。

事業者： 運動場との一体利用を考えています。屋根があるので、雨や日差しも避けられますし、また、ボールで壁あて等もできるかといいます。ただ、空間としては暗くなりがちなので、明るさの確保は考えておきたいと思っています。

会長： 色々な意見が出ましたので、是非参考にさせていただいて、良いものにしていただければと思います。それでは、本日の協議はこれで終了とします。